

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第46報 ～

**NEW** 2004年1月からピコ植物プランクトン情報を追加しました。

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
平成17年2月14日

## 1.最も数が多かった種類(優占種)

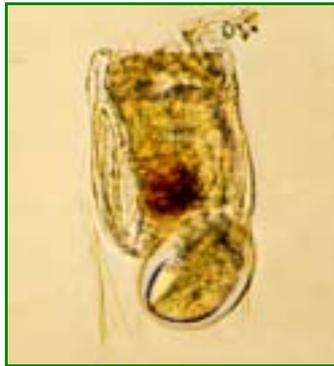
植物プランクトン第1優占種



*Cryptomonas* sp.  
(クリプトモナス)  
褐色鞭毛藻綱

体は長楕円であり、頂端は少しへこんで消化道を形成している。等長の2本の鞭毛を持つ。通常2個の大きな葉緑体を持ち、その色は黄色、褐色、赤色、赤褐色などさまざまである。

動物プランクトン第1優占種



*Polyarthra vulgaris*  
(ハネウデワムシ)  
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。  
前部に2本の触角がある。

### コメント

植物プランクトンは、褐色鞭毛藻のクリプトモナス、ロードモナスが最も多かった。その他に珪藻のホシガタケイソウ (*Asterionella*) とキクロテラ グロメラータ (*Cyclotella glomerata*) が先週より増加した。動物プランクトンは、ハネウデワムシ (*Polyarthra*) と太陽虫のラフィドキスティス (*Raphidocystis*) が最も多く、スナカラムシ (*Codonella*)、ドロワムシ (*Synchaeta*) も多かった。

## 2.見つかった主なプランクトンとその数(個体数)

### (1)動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	150

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
肉質虫類	<i>Raphidocystis</i> sp.	150

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

# 瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当

## (2) 植物プランクトン

平成17年2月14日

第46報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Pseudokephyrion gallicum</i>	30		
(黄鞭) <i>Pseudokephyrion pseudospirale</i>	10		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	140		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	8		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	80		
(珪) <i>Cymbella ventricosa</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	180		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	180		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	1		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	9		
(緑) <i>Staurastrum arctiscon</i>	1		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	40	6.1	1.5
(珪) 珪藻綱	248	37.6	10.6
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	360	54.6	41.3
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	11	1.7	46.6
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	659	総体積	8.14E+05
種類数	12	( $\mu\text{m}^3$ )	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし\*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。



ピコ植物プランクトン  
1,000倍G 励起で撮影

## (3) 見つかったピコ植物プランクトンとその数(細胞数)

ピコ植物プランクトン数	2月14日 細胞数/ml
藍藻類 <i>Synechococcus</i> sp.	16,000

注1) プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが0.2~2 $\mu\text{m}$ (1 $\mu\text{m}$ は1mmの1,000分の1)の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。